



いたこ
潮来市

平成29年2月発行

第164号

議会だより

安全で元気なまちに

「みんなが 火災に気をつけてくれたら
うれしい」



議長あいさつ..... 2

12月議会できたこと

潮来市犯罪被害者等支援条例 制定 国内も対象に ... 4～6

市政を問う 10人が一般質問 8～18

お知らせ..... 19

表紙の説明は20ページにあります

目次

議長年頭あいさつ



潮来市議会議長

今泉利拓



市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に対しご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私も潮来市議会は、昨年二月の改選によって八名の新人議員が加わり、この一年フレッシュ感を持って議会活動に取り組んでまいりました。二年目となる本年は、さらなる飛躍と充実の年になることを目指し、市執行部の施策・事業の推進に対し、是々非々の立場に立ちつつも協力すべきところは積極的に協力し、より良い市民生活の実現に向けて努力してまいります。

現在当市では、人口減少社会の到来と言う社会構造の転換期の中、潮来市創生総合戦略に沿って、基本目標である少子化対策、定住促進に向けた施策を実施しています。市民、行政そして関係機関が連携・工夫しながら潮来市の魅力を創出していくことがこれまで以上に求められております。議会としては果たすべき役割と責任を再確認し魅力ある地域づくりに取り組んでまいります。

市民の皆様方のお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が皆様にとって実り多き年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

委員会構成

今年も市民の視点に立って
審査・調査を行います。

総務建設常任委員会

総務部、建設部及び会計課の所管に関する事項並びに他の委員会に属しない事項の審査・調査等

笠間 丈夫 箕輪 昇 兼平 直紀
大野 政則 飯島 康弘 小沼 英明
栗飯原治雄 今泉 利拓

教育福祉経済常任委員会

教育委員会、市民福祉部、環境経済部及び農業委員会の所管に関する事項の審査・調査等

沼里真一郎 飯田 幸弘 阿部 慶介
小峰 進 兼平 好一 平田 健三
田崎 清 薄井 征記

議会運営委員会

議会運営全般に関する事項及び議長の諮問に関するものの審査・調査等

沼里真一郎 笠間 丈夫 兼平 直紀
小峰 進 飯島 康弘 薄井 征記

広報編集委員会

議会広報紙「議会だより」の編集・発行

薄井 征記 大野 政則 阿部 慶介
兼平 直紀 飯田 幸弘 箕輪 昇

広域議会等への選出議員

鹿行広域事務組合議会

鹿行5市の広域事務（消防・老人ホーム・介護保険の認定・火葬場）に関すること

沼里真一郎 笠間 丈夫 薄井 征記

議会運営委員会 視察研修報告

よりよい議会運営を目指して

矢板市議会は、本市議会と同数の16名の議員で議会改革に積極的に取り組まれており、平成27年3月に議会基本条例を制定、条例に基づく議会報告会・意見交換会をスタートさせるなど、今まさに議会改革を進めている議会です。

議会改革の取り組みの中心となるのが、議会改革推進特別委員会と議会広報広聴委員会、議会改革をさらに進めるための施策の立案・実行、また、従来の広報に加え、広聴の役割をより重視し、市民の声をまちづくりに活かすための取り組みに工夫をしていました。

「矢板市議会だより」の全面リニューアル、公式フェイスブック・ツイッターの運用開始、常任委員会会議録の公開、議会報告会・意見交換会の開催などは、これらの方針の具体化に向けた一連の取り組みと言えます。このような取り組みの甲斐もあって、本年には議会改革度ランキングを大きくアップさせるなど、その活動が広く注目されています。また、このように取り組みを推し進めつつも、いまだ道半ばとして、さらに進化を進める姿勢には大いに感

銘を受けました。

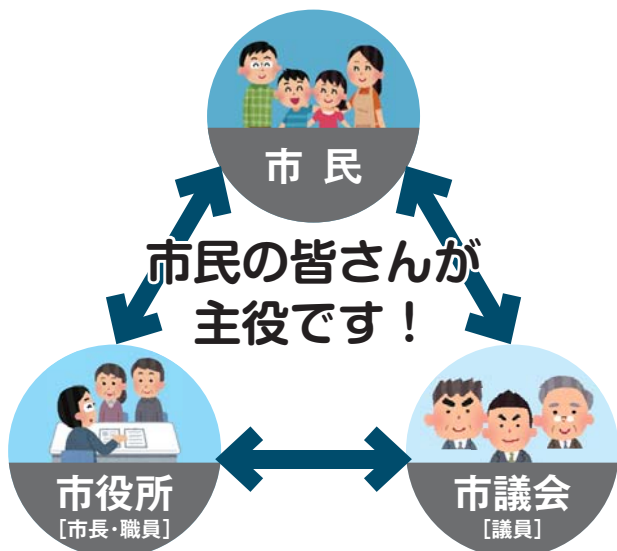
潮来市議会としても、住民自治の根幹たる市議会の役割は極めて重いものと認識するものであり、開かれた議会運営のため今回の研修から得たことを最大限に活かしてまいります。



栃木県矢板市

市民のためのまちづくりを実現するため

市民・市議会・市役所は、連携してそれぞれの役割を果たしています。



みんなが暮らしやすいまちをつくっていくために

市議会では

聴く 市民の声を市政に反映させるために、市民のみなさんの意見に耳を傾けています。

チェックする 本会議や委員会での質問、質疑等を通して、市の政策形成過程や、政策の実施過程に参画し、予算、決算、条例等を審議、決定します。

提案する 市民の意見を市役所の仕事に取り入れるよう提案します。

行動する 市民の豊かな暮らしのために、調査・研究等を行います。

説明する まちづくりに関する情報を、積極的に発信し、市民にわかりやすく説明します。

霞ヶ浦水郷流域下水道整備推進協議会
兼平 直紀 大野 政則 箕輪 昇
飯島 康弘 笠間 丈夫
後期高齢者医療に関すること
沼里真一郎

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員

ピックアップ

潮来市が全国をリード!

市条例 対象を国内の犯罪被害にも拡充

議案 第70号 潮来市犯罪被害者等支援条例 制定 【全会一致で可決】

国内、国外を問わず、犯罪に巻き込まれた市民を幅広く支援するために制定。

犯罪被害者等の支援について基本理念を定め、市及び市民等の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者が受けた被害等の軽減及び回復に資することを目的とする。

見舞金支給のほか、支援活動に関する情報の提供、手続補助等の相談、支援を行うための窓口を設置するなど、関係機関と連携協力しながら、支援体制を構築するもので、今回の条例制定により※1「潮来市国外犯罪被害者等見舞金の支給に関する条例」は廃止となるが、国外に関する内容等については新条例に受け継がれている。

※1 解説と経緯

2013年2月海外へ旅行中の市民が犠牲となり、潮来市が全国に先駆け市の独自制度として制定。同年6月の定例議会で「犯罪被害者支援に関する請願」の採択により、日本国外での支援制度の拡充を求める意見書を国へ提出・法律の改正をもとめていた。

同様の趣旨の国の法律は、2016年6月「国外犯罪被害者等見舞金等の支給に関する法律」として成立、11月末に施行。

平成28年第4回定例会

◆会期 11月29日～12月16日

執行部から提出された議案は、条例改正、補正予算など12件。審議を行い、すべて原案のとおり可決しました。また、請願1件を採択し、2件の意見書を提出。人事案件2件にも同意。市政一般についての質問は10人の議員が行いました。

ピックアップ

補正予算 【全会一致で可決】

議案 第73号 一般会計補正予算 1億8,180万円増額

【歳 出】

▶ 電子計算管理費	615万円
電子入札システム導入費・茨城セキュリティークラウド 接続設定業務委託	
▶ 道路舗装事業	2,000万円
日の出地区街路液状化対策事業 測量設計委託	
▶ 茨城国体開催会場施設整備事業	246万円
不動産鑑定委託	

1万円未満切り捨て

人事案件 【全員賛成で任命に同意】

同意 第5号

潮来市教育委員会委員 小沼由紀子さん（水原）

同意 第6号

潮来市公文書開示審査会委員 湊 弘美さん（千葉市弁護士）、小林俊夫さん（日の出）、佐野憲一さん（牛堀）、茂木春美さん（島須）、風間道夫さん（釜谷）

議案審査・所管事務・施設の調査

総務建設委員会

事業進捗状況を注視し、市民の声を反映させていきたい



12/13 付託案件審査のため、委員会を開催し、所管事務に関する質問を行うとともに、①旧磯山邸の改修工事現場と②津軽河岸跡の現地調査を実施しました。

これらの事業は、新たな観光周遊ルートを創出するものなので、潮来市にとって重要な施策、今後も進捗状況を注視し、事業に対する市民の声を反映させていきたいと考えています。



旧磯山邸の中

①旧磯山邸 工事進む

平成27年度より地方創生交付金対象事業として進められている※2旧磯山邸は、本年度、耐震補強改修工事を実施中。工事は順調に進んでおり、今年2月に工事が完了する予定。改修後には、市民や観光客たちの交流拠点、宿泊もできる移住体験の場として使用する計画も立てられている。

※2解説

水郷旧家磯山邸のことで、明治32年建築の日本家屋。地域資源として位置付けられている。



②津軽河岸跡

茨城県と市が連携して策定した「前川かわまちづくり計画」に基づき、津軽河岸跡の前川護岸の整備事業が県により実施され、市は現在、河岸跡周辺の土地及び境界等の調査を実施中。船着き場のみならず近接した既存の石造りの倉庫や、旧磯山邸の活用、周辺広場の整備計画などが盛り込まれた「津軽河岸跡周辺整備事業基本計画」の策定も進められている。

議案審査

教育福祉経済委員会

提出された請願を審査 全員一致で「採択」

請 願

請 願 名	「奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書の採択を求める請願」
請願提出者	日本労働組合総連合会茨城県連合会 鹿行地域協議会 議長 篠塚和弘
紹介議員	兼平 直紀
所 管	教育福祉経済委員会
審査の結果	採 択
本 会 議	全員賛成で可決



請願の採択を受けて、国に対して意見書を提出

意見書

国に意見書を提出

奨学金制度の改善と教育費負担の軽減 求める

意見書の提出先

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、文部科学大臣



意 見 書 (要旨)

奨学金制度を運営する「独立行政法人日本学生支援機構」によれば、2014年度実績では135万人（無利子奨学金47万人、有利子奨学金88万人）が同機構の奨学金を利用しており、これは、全国の大学生のほぼ2人に1人にあたる。

他方で、大学卒業後には3人に1人の学生が非正規雇用となっており、2015年4月には、返済猶予期間が5年から10年に延長されたものの、奨学金を借りた8人に1人が返済の滞納や猶予の状態にあるとされる。こうした実態は、学ぶ意欲と能力をもった貧困世帯の子どもが、高等教育を受けることにより相対的に高い職業能力を身につけたとしても、貧困から脱することができない状況を生む可能性を示唆している。

こうした現状に鑑み、本議会は政府に対し、下記の事項を強く要望する。

- 1 貸与型から給付型へ、奨学金制度を抜本的に転換し、大学等において国の給付型奨学金制度を導入するとともに、高校を含めて拡充すること。
- 2 貸与型奨学金は無利子とし、延滞金は廃止（廃止までの間、返済金は元金・利息・延滞金の順に充当）すること。また、所得に応じた無理のない返済制度をつくり、返済困難者の実情に即して適切な救済を行うこと。
- 3 大学等の学費の引き下げや授業料免除の拡大等を図ること。

平成28年12月16日

茨城県潮来市議会

委 員 会 の 活 動

所管事務の調査

市が新たに施策を行う場合などには、市から詳しく説明や報告を受け、質問・要望を行います。こうして市役所の仕事をチェックし、市民の声を速やかに市の仕事に届けます。



所管施設の調査

市が新たに施設を作った場合などは、実際に現地まで足を運び、その様子を調査します。現地を訪れて、初めて見えてくることもたくさんあるのです。



要望活動

潮来市をよりよいまちにするために、国の行政機関などに対して要望活動を行っています。



先進地の調査

委員会は、事務事業の比較調査、政策研究等のための行政視察も行っています。





議事が「伝わる」 までが議会活動

地域の問題・課題を共有し、解決していくためには、議事や、議会の活動が、市民のみなさんに公開され、政策情報・課題などが共有されることが重要です。

解説：議事…議決と、これに至る審議の過程の全て



「議会だより」は、 年に4回発行

議会広報編集委員会では、議案の審査経過と結果、一般質問、議会制度や仕組みなどを、わかりやすく掲載するため、紙面企画、レイアウト方法を学び、工夫していきます。



7/13 山形県 川西町にて住民参加型の「親しまれる議会だより」について学ぶ



11/7 研修視察受け入れ「親しまれる議会だより」を目指して、秋田県 男鹿市と意見交換

なぜ、潮来市を視察先に？

「議会だより」8月号の表紙と連動させたインタビュー記事をインターネットで見つけ、このような企画があれば、議会が身近に感じられ、市民の方に手にとってもらえるのではないか？紙面を開いてもらえるのではないか？ということで選んでいただきました。

今後も、「親しまれる議会だより」を目指して紙面づくりに取り組んでまいります。



いたこ 潮来市・やすぎ 安来市（島根県）・あさご 朝来市（兵庫県） 市名に「来」が付いている縁で

3市議会の交流 平成26年から始まる

11/7～11/8 3回目の「三来交流会」を潮来市で開催し、議会の運営状況や、交流のあり方について、活発な質疑や意見交換が行われました。今後も交流を進めていきます。



朝来市
「天空の城」雲海に浮かぶ竹田城跡



一般質問

市政を問う 10 人の議員が質問

議員の質問や市の答えには、市政の課題がたくさん詰まっています。
どうぞご注目ください。

※ 9 ページから18ページまで発言順に掲載

9^P

小峰 進 議員

- 1 市民の視点に立った行政サービスについて
- 2 潮来駅と東京駅を直結する高速バスルートの設置について
- 3 ハイウエイオアシスの進捗状況は
- 4 「道の駅いたこ」について
- 5 特産品・土産品・新メニューの開発は

10^P

飯島 康弘 議員

- 1 教育環境の充実2020年問題について
- 2 安全・安心なまちづくり高齢者の交通事故防止について

11^P

小沼 英明 議員

- 1 水郷三都観光推進協議会について
- 2 花桃の里、前川運動公園について
- 3 入札について
- 4 随意契約について

12^P

阿部 慶介 議員

- 1 日の出地区街路樹について
- 2 日の出地区の区加入率について
- 3 潮来市通学路安全点検について

13^P

兼平 直紀 議員

- 1 地方創生総合戦略重点施策の効果・進捗状況について
- 2 当市が「企業版ふるさと納税」を募集する地方創生に向けた取り組みについて
- 3 「前川かわまちづくり計画」と「津軽河岸跡周辺整備事業」について

14^P

平田 健三 議員

- 1 敬老会の開催について
- 2 特定空き家対策について
- 3 通学路の交通安全点検について
- 4 「デマンド交通」システムについて

15^P

田崎 清 議員

- 1 防災訓練について
- 2 敬老会について
- 3 市長の慶弔について
- 4 市長の公約について
- 5 市職員について

16^P

箕輪 昇 議員

- 1 ソーラー施設について
- 2 霞ヶ浦の浄化について
- 3 公共施設のトイレについて
- 4 道の駅について

17^P

沼里真一郎 議員

- 1 復興工事の完成へ地下水位低下の現状と変更点。建物傾き・沈下補償について
- 2 広域バスへ近隣市病院へのルート。デマンド型交通・タクシーチケット導入で近隣市乗り継ぎを。
- 3 市入札方法を変更した影響と下請け工最低賃金の公契約制度導入を
- 4 困っている人への食料提供へ市内でもスーパー・コンビニ提携と緊急資金貸付を
- 5 東京オリンピックでのボート競技について

18^P

飯田 幸弘 議員

- 1 潮来市の防災について
- 2 市立図書館について
- 3 障害者差別解消法について
- 4 下水道の接続普及に向けた取り組みについて
- 5 道の駅いたこについて
- 6 ホームページ多言語について

白抜きの数字は要約して掲載された質問ですが、それ以外は紙面の都合により掲載できませんでした。
その内容については、議会ホームページの録画中継によってご覧いただけます。

潮来市議会

検索



Q1 市民の視点に立った行政サービスを

質問 市民から寄せられる要望、苦情の対応の流れは、各課共通の取り扱い対応マニュアルはあるのか。

答 秘書政策課長 内容を精査し、緊急性や必要性、公平性を基準に、実施の可否等について判断し回答する流れ。マニュアルはあるが、課によって対応が統一されていない。対応マニュアルを整えながら、迅速に対応していく。

再質問 要望等がナシのつづてとならないよう、対応状況を相手方に示すべきと思うが、見解は。



答 市長 「いつまでにか、できない。来年度やります」ときちつと相手方に報告する。当たり前のことであるが、全庁を挙げてスピード感ある対応ができるように進めていきたい。わかりやすいマニュアルも整備していく。

Q2 潮来駅と東京駅を直結する高速バスルートの設置を

質問 4月に、あやめ一丁目商店会が、「人の流れを変え、再び駅前に活気を取り戻すきっかけとしたい」という願いのもと潮来駅と東京駅を直結する高速バスルートの設置を求める陳情書を市に提出した。その後、バス会社とは、どのような交渉をしたのか。

答 秘書政策課長 バス車両、乗務員の確保、設備投資の負担が大きく、新たに便数を増やしてルートを新設すると想定した場合には、東京駅の発着場が飽和状態であり、困難であると、前向きな回答をいただいていない。今後は、市長が直接バス会社に要望をする調整を行っている。

Q3 ハイウェイオアシスの進捗状況は

質問 これまでどのような調査検討がされたのか。また、次世代型の自動料金収集システムETC2.0の導入を要望できないか。

答 都市建設課長 常総国道事務所より、佐原PAから約7km、潮来ICから約1kmと近いこと、休憩施設の設置間隔及びランプ構造の観点から、非常に難しいと説明を受けている。また、ETC2.0を活用した利用促進は、ハイウェイオアシス同様の効果が期待できると考えており、道の駅いたこの利用促進が図れるよう関係機関と協議していく。

Q4 道の駅いたこの現状と今後の課題は

質問 改修基本計画における将来を見越した基本的な考え方と仮設の野菜売り場直売所の現状と課題は。

答 産業観光課長 売上高9億円、施設利用者数64万人、地域拠点のプラットホームを早期実現するために、4つのコンセプトによる改修を進めます。

- ① 新たな客層（若年層の開拓・育成）
- ② 滞留空間の創出（ゆつくり過ごせる道の駅の進化）
- ③ 豊かな外部空間（水際空間・グラウンドの利活用）
- ④ インバウンド需要の取り込み

今後、東関東の延伸や茨城国体、東京オリンピックなどの国内需要を見据え、10、20年後の市のために先見性を持ち、利用者に喜ばれるよう努力していく。仮設の野菜売り場は、以前花木販売をしていたガラスハウス。場所がわからない利用客もあり、現在、案内看板を設置し案内している。また、生産者の売上も減少しており、利用者への周知と販売促進活動等を行い利用者増を図りたい。

再質問 企業努力をしながら時代の変化に対応できないければ、必ず停滞してしまうと思うが、市の見解は。

答 市長 変化に対応し、発想、考え方を变えて、しっかりと道の駅の改革に邁進していきたい。市の都合で色々な事業をやるのではなく、道の駅自身がきちつと経営が成立つようにしていく、それが大切なことであると考えている。



質問者 飯島 康弘 議員

Q1 どう変わるの？もつと知りたい！2020年問題 教育改革のこと

質問 2020年度から大学入試センター試験が廃止される等、教育改革が進められており、義務教育の内容の変化が考えられるが、市の認識は。

答 学校教育課長

義務教育の内容については、現在、文部科学省で次期学習指導要領の改訂に向けての最終作業が行われており、平成32年度に小学校、33年度に中学校で全面实施されます。何ができるようになるのか？何を学ぶのか？どのように学ぶのか？3つの方向性が示されていますので、これらを常に認識し、適切な対応を図っていききたい。

答 教育長

小・中学校には、一つの学びの基本として、文部科学省から示されている学習指導要領がありますので、詳細が決まるまでは、現在の学習指導要領にのっとり進めていきます。「現在取り組んでいることをしっかりと子どもたちに身につけてもらう」ことが、次の大学入試改革にも、やはり、基本的な力として、大きく影響することであると思うので、先生方の

研修等を深め、十分対応していきたい。各学校単位のPTAの役員の方にも大変積極的な活動をしていただいていますので、学校単位で、こちらから校長会で学校長に市の方針を伝え、まづ伝達をしていただく等の方法を取り入れていきたい。

Q2 高齢者の事故防止 安心・安全なまちにするために一緒に考えましょう！

質問

高齢者の安全確保や、生活しやすい環境づくりを早急に進めなければならないと考えるが、高齢者の交通事故と免許返納状況をどのように把握しているか？

答 総務課長

事故は、県警察のホームページ内の「交通事故関係統計分析」の閲覧や、行方警察署に聞いて把握している。市内での高齢者の交通事故は平成28年1月～11月28日までで16件発生。



潮来市の運転免許証 所有状況

65歳以上 5,483人
H28.10月末現在

潮来市の免許証 自主返納状況

平成26年中	11人
平成27年中	23人
平成28年1月～10月末まで	39人

【行方警察署より】

再質問

今後、団塊の世代が後期高齢者に入ってくるが、高齢者の人口増が予想されるが、把握はしているか。

答 総務課長

平成28年10月末現在で次のとおりです。

①潮来市人口	29,018人
65歳以上の高齢者人口	8,542人
①の人口 29,018人で考えると割合は29.4%	
団塊の世代とよばれる（昭和22年～24年までの戦後ベビーブームに生まれた方）平成28年10月末現在で	1,658人
①の人口 29,018人で考えると5.7%	

質問

事故防止、免許証の自主返納についての取り組みは。

答 総務課長

「高齢者の交通安全教室」の実施や、潮来市交通安全母の会がパンフレットや反射エコーバックを持参して高齢者世帯を訪問、啓発を実施している。免許証の自主返納は、行方警察署と連携しながら進めてまいりたい。来年3月施行の改正道路交通法では、75歳以上に対する免許制度を見直し、認知機能検査が強化される。引き続き行方警察、交通関係団体等と連携しながら、「交通安全教室」を実施するなど高齢者の交通事故を減らす努力をしていきたい。

質問

市民に問題意識をもってもらうには行政の力が必要であると考えがいかがか。

答 市長

地方の場合は、公共交通整備がされていないので、足がありません「免許を返納したくても、できない」というのが今の現状です。これを出来るだけ早く解決するために、現在、公共交通活性化協議会で検討をしている。どのような方法でやっていくのか議員の皆様方と一緒に考えていきたい。



Q1 潮来・鹿嶋・香取による「水郷三都観光推進協議会」について

質問 潮来市はいくら予算を計上し、三市全体で予算はいくらで運営しているのか？

答 産業観光課長 三市同額の150万円を計上。本年度予算額は、繰越金等含め542万円。

質問 今年度の主な事業は？

答 産業観光課長 タイの旅行会社やメディアを招聘し、水郷ならではの自然環境や文化、歴史的建造物や街並みの視察、また、観光局主催のフェアに参加、観光客誘致宣伝を行った。

質問 ホームページをいくらで作って管理は誰がしているのか？

答 産業観光課長 139万円で開設、事務局運営を行う自治体（1年交代・H28は潮来市）を通じてHP管理業者が行い、管理費用は年7万円。

再質問 まだJRの特急が通っているようにHPに掲載されているが？

答 産業観光課長 情報掲載が滞っている部分があると認識。構成2市に呼びかけ情報発信を充実させた。

質問 佐原の大祭で使用されている、GPSを用いた山車の位置を確認するシステムのような情報の共有は行われているのか？

答 産業観光課長 現時点では行われていないが、ご指摘のシステムは、山車位置をリアルタイムでウェブ上で検索できる来訪者の視点に立ったもの、当市での活用も想定した場合、魅力を発信する上でも非常に有益なシステム。導入実績等の調査を進め、結果を潮来お祭り委員会事務局へ情報提供している。



Q2 前川運動公園のオーナリー制H26・3月実施の「ハナモモの記念植樹」について

質問 どのように手入れされているのか？

答 都市建設課長 330本を対象に、水やり、薬剤散布、害虫駆除、除草等を実施。

質問 枯れたらどうするのか？

答 都市建設課長 枯れ木対策等も含め、適正な維持管理に努めたい。今後、もし枯れるというような場合は植え替えを実施。

質問 観光名所として植樹したと思うが、どうされるのか？

答 都市建設課長 市民の健康づくりや憩いの場としての役割を担う「都市公園」として、愛着を持ってもらい住民参加型の管理ができればと考える。

Q3 入札について

質問 「指名競争入札」入札後になぜ、この業者が指名されたという理由を公表できないか？

答 財政課長 指名選考委員会にて選定、個別業者の選定理由は公表できない状況。選考基準による指名基準、事業規模等の等級基準は公表等について他の自治体を参考に調整中。

質問 市内業者をS・A・B・Cとランク別にされたのに条件付き一般競争入札の公告にランクではなく点数で参加資格が問われるのはなぜか？

答 財政課長 実施要綱第3条の2項で、工事の状況、発注内容を考慮、結果に基づき要件を設定。より競争しやすい条件と談合防止の面から施工能力があるものの参加要件という意味において評点設定は必要と考える。

再質問 建設業の方々と入札に関する話をしたと伺っているが、不満や意見が出たのでは？

答 財政課長 条件の点数がA・B・Cに合致せず、わかりづらいというご指摘をいただいた。

質問 予算価格が入札後に発表されるメリットは？

答 財政課長 談合防止等、業者の積算能力の向上。

質問 12月入札予定のH28水郷潮来バスターミナル駐車場料金精算システム改修工事の説明を願う。

答 都市建設課長 経年劣化による動作不良多発により、駐車場発券機1台、自動料金精算機1台、出入り口のバゲート2機による交通系電子マネーが利用可能となる対応機器の設置。

再質問 将来は無料化を見据えた機械の交換と解してよいのか？

答 都市建設課長 老朽化が主なものであるが、市民判別機等増設の形もとれる危機を選定、設置。



阿部 慶介 議員
質問者

Q1 日の出地区の街路樹はどう進める？

質問 街路樹の植栽後の維持管理はどうするのか？

答 都市建設課長 市民協働でお願いできればと考えている。

質問 植栽は誰が行うのか？ 植栽樹の土の入替えは？

答 都市建設課長 市で整備するのか、区と共同で実施するか、引き続き地元区長の方々と調整してまいりたい。日の出の砂では、なかなか生育も悪く、入れかえ等をしていく予定です。

質問 区で植栽の維持管理をしたら1人/500円支援、最高2万円との事だが、茨城県の最低賃金は771円/h、それから比べると安いのでは？

答 都市建設課長 現時点で、まだ維持管理が発生しているわけではないので今の時点で引き上げる約束はできない、現制度の中で活用していただければと考えている。

Q2 日の出区加入率の向上の打開策は？

質問 市の各行政区、加入率低下防止の取組みは？

答 総務課長 市民課窓口で、転入者の方へ配布グッズの中の1つとして、自治会加入のチラシを入れている。新聞折り込み等による区加入促進チラシの配布、広報紙及び情報版による区加入促進の呼びかけ等の取り組みをしている。

質問 今年度の加入率が増えた機会に、コミュニティ活性化事業を展開して、区に助成しては？

答 市長 日の出だけでなく、区の加入は、全部の地区が困っている問題。全体として、地域の活性化、それにあわせて区に入っていたりするような事業を各区が考え、事業を起こしていくということであれば、制度をつくり、方法などは、これから検討が必要だと思うが、市が認められる事業に関して支出していくという方法がいいのかなと思う。

Q3 子供達の通学路の安全は守られているか？

質問 28年度通学路安全点検の進捗状況は？

答 学校教育課長 通学路緊急点検を平成24年8月に実施、小学校は、23カ所、中学校は、6カ所の危険箇所が抽出された。28年度の進捗状況は、小学校23カ所の危険箇所ので、20カ所が対策済、3カ所の危険箇所が残っている。中学校6カ所の危険箇所は、4カ所が対策済、2カ所の危険箇所が残っている。さらに、小学校においては、27年8月に追加の通学路安全点検を実施し、9カ所の危険箇所を抽出、7カ所が対策済、2カ所の危険箇所が残っている状況。



質問 子供達の事なので通学路も毎年少し変わることもある、中学生は違うところを通ることもある、毎年点検していただきたい。

答 学校教育課長 本年度の危険箇所の解消状況、周辺環境の変化等々を含め、実施できるように検討してまいりたい。

質問 子供達に危険箇所解消後のアンケートを実施してこなかったが、子供達の意見もあるので今後は軽微な危険箇所の解消でも実施してもらいたい。

答 都市建設課長 実際に子供たちにアンケートを実施していきたい。

質問 安全、防犯の観点から通学路、学校等に監視カメラの設置は検討しているか？

答 総務部長 東京都心で事件等が発生した場合、防犯カメラの映像が使われ、既存の商店街や商店内部の監視カメラ等々を活用するケースが多い。当市の場合、通学路が広範にわたることから、何かの形で対策が講じられないかどうか、対応を考えてまいりたい。



議員 直紀 兼平 質問者

Q1 もっと地方総合戦略 重点施策のアピールを！

質問

地方創生関連の交付金、一般財源で行う施策を含めると、28年度福祉関係の予算は27年度予算より大幅に増えています。実施する重点施策は、近隣市に比べ、どういう強みがあり、どのように市民のためになっているか、アピールした方がよいと思うがどうか？

答

秘書政策課長

重点施策事業を例に挙げると、

①不妊治療助成金制度（県内でもトップレベルの支援、今年度は15件の助成）

②子育て支援（放課後児童クラブの開所時間を早くしたり、保育時間を延長）

③子育てガイドマップ作製やウェブサイト「itacoco」を実施。今後も他市と違いのある事業を継続していきます。

市外向けのアピールは、子育て支援や、移住定住に関する各種支援について関連施策をパッケージ化、モデルケースを設定するなどして情報を発信していくことを検討していきたい。

Q2 積極的に新しい財源 の確保を！！

質問

自治体が独自の事業に対し企業から寄付が募れる税制優遇措置制度「企業版ふるさと納税」が創設された。

①現在この制度の取り組みは？

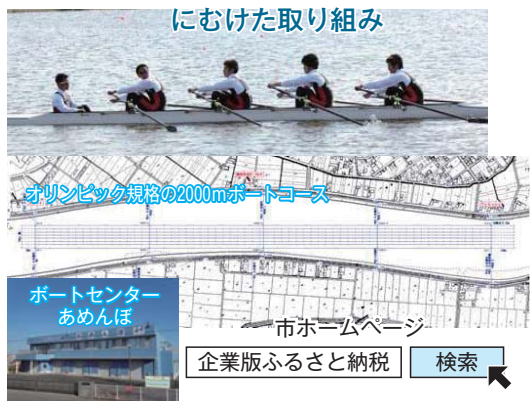
答

秘書政策課長

今年9月から、企業版ふるさと納税の周知を行い、制度活用に必要な地域再生計画を国へ提出、11月25日に認定を受けた。

申請時に企業から示された寄附見込額は、3社で210万円。今後、時期や寄附の額の確定額について、具体的に調整を行っていく。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） にむけた取り組み



②対象事業選定理由は？ 埴秘書政策課長

答

津軽河岸を生かしたまちづくり、スポーツを生かしたまちづくりに選定した理由は、水郷潮来の潮来らしさを象徴する事業であること、2事業とも本年度から本格的に着手するため、時期的にも合致したため。

茨城県潮来市が寄附を募集する地方創生に向けた取り組み

- 津軽河岸を活かしたまちづくり
- スポーツを活かしたまちづくり

Q3 市民に愛され、稼げる施設にするべき！！

質問

茨城県9月定例会での「津軽河岸跡周辺整備に関する補正予算」の議決を受けて、策定される「前川津軽河岸跡基本計画」について伺う！！

答

秘書政策課長

事業に関する総事業費

は、現時点の構想段階での試算で、最低約3億円程度を想定、基本計画策定前の概算見積もりなので、今後、基本計画の策定、詳細設計等の実施により、事業規模が具体的になってきます。財源は、企業版ふるさと納税、地方創生に関する交付金等を充当することを考えている。

②財源になる交付金の交付条件を伺う！！

答

秘書政策課長

地方創生に関する交付金については、ハード事業に対して対象事業費の2分の1が交付金となるもの。しかし、地域再生計画の内容、整備の内容が国の審査基準に到達していなければ交付されません。ハード事業により作った施設で、収益を生む整備事業が審査の対象基準になっている。

ハード事業：施設の建設や基盤の整備などを目的とする事務事業

潮来市の観光を盛り上げていくためには、今後、この計画で出来る施設が非常に重要になると思う。観光のイメージも大切だが、前川の原風景を大切に、その施設を市民が利用し、稼げる施設、市民に愛される計画にしていくべきであると思う。



Q1 敬老会開催単位の検討を

質問 多くの方が参加のできるように、区や公民館単位等で開催してはどうか。

高齡福祉課長

答

1つの会場で開催している、課題は、会場の収容力、参加率、参加者の安全確保、アトラクションの内容等。会場の収容人員が限界に達したため、今年度、対象年齢を72歳から75歳に変更したが、今後も高齢者人口が増え続け、参加者の増加が見込まれるので、敬老会の開催形態等について実行委員会等で検討し見直していく。



Q2 「特定空き家の条例」制定を

質問 実態調査で特定空き家を認定し、マニュアルを策定し、指導強化に取り組んでどうか。

総務課長

答

秘書政策課、総務課、税務課、環境課、都市計画課のメンバーで、空き家対策庁内関係課の対策会議、「空き家対策ワーキングチーム」を発足して、相談の受け付け、情報の収集及び提供、利活用の促進、また、神栖市へ出向くなど先進地視察を進めている。3月を目標に「空き家対策条例」の制定を進め、その後、専門家を加えた協議会を設置、計画を策定して、29年度に実態調査しながら、空き家対策の道筋をつけていきたい。



Q3 通学路交通安全点検の進捗は

質問 牛堀幼稚園・小学校前の安全対策を伺う。

都市建設課長

答

①市道（牛）3143号線（県道大賀牛堀線から牛堀幼稚園に向かう道路）は、用地取得済。現在、設計中。年度内に発注予定ですが、地盤改良を先に行う。

②市道（牛）294号線（牛久の田園センターから牛堀幼稚園に向かう道路）は、3143号線の迂回路、概略設計を出しており、今後、用地交渉を行っていくので、少し時間はかかりますが、最終的には歩道を整備し、交通安全、子どもたちの安心安全を守ります。



Q4 デマンド交通システムの早期実現を

質問 社会福祉協議会を中心に、持続可能なデマンド交通システムを調査・研究し早期実現を提案するがいかか。

秘書政策課長

答

公共交通活性化協議会で、幹線を通る路線、幹線の中でも市内の市街地を循環する幹線の実現を調査・研究し早期実現を提案するがいかか。

答

市長

本年度潮来市公共交通活性化協議会の中で結論が出てきます。来年度はデマンドか、循環バスか、タクシー補助でやっていくのか決まっています。再来年度には、実証がなく、本格運行できるように全力を尽くしたい。



質問者 田崎 清 議員

Q1 防災訓練について

質問 参加人数、内容、成果は。

答 総務課長 3千737人参加。66地区の自主防災組織の方々が訓練や安否確認を行い、自主防災組織の重要性を再認識。災害時の迅速、適切な行動力の向上と、関係機関相互の協力体制の強化が図られ、地域住民の防災意識の高揚が挙げられる。潮来小児童の炊き出し体験も成果の1つ。

防災訓練 内容

訓練 情報伝達・避難・消化・応急担架作成・給水・飲料水兼用耐震性貯水槽の開閉・炊き出し・安否確認

体験 防災呼吸器装着・煙道救命

講習 救命



質問 消防団、日本赤十字奉仕団の構成、運営は。

答 総務課長

潮来市消防団は条例定数630名、定員数622名、うち7名女性消防団員。

答 社会福祉課長

日本赤十字奉仕団は、各市町村組織の地域奉仕団と特

Q2 市長の慶弔について

質問 結婚式への出席数、葬儀への参列数・代理者の参列数は。

答 秘書政策課長 平成27・28年度、結婚式出席なし。27年度、葬儀6件中4件参列、2件代理参列。28年度、7件中6件参列、1件代理参列。

再質問 ①関係団体との協議、物資の確認・補充はいつ行われるか。

答 総務課長 11月1日～11日に区長、民生委員、消防団部長の皆さんと実施。物資確認は地区の自主防災組織のリーダー、区長に委ねているので、確実に把握していない。今後、区長の皆さんと協議させていただく。

再質問 ②団員の確保が難しくなっている中、役職を終えながら引き続き活躍されている団員、また、市の職員は何名おられるか。

答 総務課長 団員、約28部で22名。市職員、25名。

再質問 団の再構築、市役所単体での消防団は。

答 総務課長 市職員25名は、職員数の約10%で若手職員。団の構成は、消防団幹部の皆さんと、よく話をしなければならぬ。団の再構築も、同様です。市役所内部でも話をさせていただきたい。

Q3 市長の公約について

質問 市長 ①東京オリンピック競技(ボート) ②潮来インター周辺(企業)、③医療機関・大学④商業施設(日

答 秘書政策課長 ①事前キャンプ地誘致を進めている。②企業と調整したが、面積が足りず未成立、誘致活動を進めている。③④法的な課題、ニーズ等を整理し実現に取り組む。

再質問 高速バスターミナル駐車場市民無料化への進捗状況は。

答 市長 駐車場法で、単純に市民無料化を進めることはできないが、あきらめないで進めていく。調査検討中。

再質問 市内循環バス及び子育て支援のためのお稽古バス運行の進捗状況は。

答 市長 まだ、手がついていない、地域の特性にあったルートを導入したい。公共交通網の整備と一緒に、路線バスか、デマンドタクシーに入れるか、これから検討。

再質問 高速バスの通勤、通学生への定期券購入の補助金2万円の申込者数は。

答 秘書政策課長 通勤(転入者)1人、通学者16人。

一般質問

市政を問う



質問者 箕輪 昇 議員

Q1. ソーラー施設から生活環境をどう守る?

質問 県はソーラー施設の設置、管理についての指針を策定したが、その内容は?

答 環境課長

事業者は発電事業を計画する際には、事前に市へ事業概要書を提出し、関係する法令に基づく手続や、周辺住民等への事業説明方法、施工に当たって配慮すべき事項、設置後の適切な維持管理方法、事業終了後の施設の廃棄計画等などについて市と協議を行い、市から要請等があった事項について、誠意をもって対応するように努めることというもの。

質問 現在潮来市内にある10kW以上のソーラー施設の数はどの位あるか。

答 環境課長

7月末で、設置済施設数は10kW以上50kW未満の施設が226件、50kW以上の施設が24件、合わせて250件。



質問 ソーラー設置場所に事業者名、緊急連絡先の表示をすることが義務付けられたが市はどう指導するのか。

答 環境課長

県のガイドラインをホームページで周知するほか、パトロールをするなどして指導していきたい。

Q2. 飲料水である霞ヶ浦の水質は良くならないか

質問 田の森の取水量は一日何tか。最大何tまで取水が可能か。また県水と合わせて何t配水されているか。

答 環境課長

取水量は1日当たり約6900tで、1日当たりの最大取水量は約1万1300tまで可能。

上下水道課長

答 県水は、日量1700tを受水、市の配水量に対して約20%受水をしている。

質問 改善されない水質の原因は何か。また、目指す水質の数値目標はどの位か。

答 環境課長

霞ヶ浦は平均水深が4mと浅く、周囲の河川より流れ込んだ処理不十分な生活雑排水や農業、畜産排水により、植物プランクトンが大量に発生、湖

底に堆積することが原因とされており、県の「湖沼水質保全計画」では、昨年度までの水質改善の目標は、COD7.4です。次の5カ年については、現在、策定中。

Q3. 公共施設のトイレの洋式化はどう進めるか?

質問 小・中学校のトイレ数と様式化率は現在どうか。

答 学校教育課長

小・中学校合計で大便器数414、洋式便器数198、洋式化率は47.8%

質問 公共施設等の洋式化率はどうか。今後の計画は。

答 財政課長

現在、小・中学校、公民館、あやめ園と徐々に洋式化をしている状況で、今後も優先順位をつけ、実施に向けた調整をしていく。

質問 公共施設は緊急避難場所になる。和式でも手すりがあればストレスも防げるか。

答 財政課長

洋式は、手すりを付けると狭くなるという事情もあり、手すりが付いていない所もある。今後、和式トイレに手すりをつけられるか考えていく。

Q4. 道の駅の野菜売場面積が広がるがどう対応するか

質問 会員数はどの位か、また出品者の高齢化にどう対応していくか。

答 産業観光課長

11月現在、79名が会員登録、常時出品生産者は30~40名。新売り場面積は約2.6倍で80~100名程度必要になると考えている。水郷潮来直販委員会への入会募集を行っていくが、それでも商品が不足する時は、市外の生産者も視野に入れてお客様のニーズに沿えるよう努力したい。

環境経済部長

答 ご提案のCCRC構想はかなり大きなテーマなので、まずは、市民の方にアプローチしていきたい。

解説

湖沼法の水質基準の1つでCOD

(chemical oxygen demand、化学的酸素要求量)

2 CODは、Continuing Care

Retirement Community略



質問者 沼里 真一郎 議員

Q1 復興工事の完成へ地下水位低下の現状と変更点。建物傾き・沈下補償

質問 地下水位低下のウエルポイント追加工事は2割増。地下スケジュール延長・方法変更後も水位低下が限定的、水位上昇した観測井戸も。3月までまた2ヶ月延長し、観測井2箇所が6cm達していない。効果検討委員会は最初1回だけか。

答 建設部長 予定どおり、①当初と②地下水位が安定してからと③その1年後に予定。ステップ移行や、スケジュールを変える時は、各委員の方の意見をいただき進めている。

質問 復興工事設計前の観測井戸数と、不透水層があるのかどうかの確認（堤防沿い）も足りないのでは。液状化対策検証委員会の報告書に「常陸利根川の水位と同様」の記述。水を通さない土は無い。底面から常陸利根川からの流入は。

答 復興工事推進事務所課長 排水を始めてから、設計排水量の数値と同様、もしくは、それより少ない実質の排水量になっており、常陸利根川等からの不明水の流入はないと考えている。

質問 ポンプを稼働し続けた場合の年維持費は、市全体の下水道料へ。水抜きコックから水位調整立上げ管へ10か所変更追加工事で水位調整できるか。構想より水量が多いのでは。

答 建設部長 マンホールポンプと同じような立上げ管を設ける事により、水位の高さでコントロール。今までのコックよりはるかに水位コントロールがしやすく、全く心配ない。雨量が多い時などは、排水量は増えていると思われるが、もともとの地下水位を下げるスピードをコントロールしているので、排水量は予定より少なめであると思っています。

質問 広域バスで近隣市病院へのルート。デマンド型交通・タクシードマン導入で近隣市乗り継ぎを

答 地域公共交通網計画案の複数ルート組み合わせ

にない、近隣市病院経由のルートは。（タクシーでは何千円もかけて通院）

答 秘書政策課長

鹿行地域公共交通確保対策協議会で、鹿行地域内で市境をまたぐような広域交通の実証実験開始を目標に、協議が進められている。水郷潮来バスターミナルハブ構想や近隣市主要病院へのアクセス確保などを主要課題と据え、積極的に本協議会での議論を中心に、近隣市との協議を進めたい。

質問 ルート空白地にデマンド型交通か、タクシードマン

ド型交通か、タクシードマン同か、杜協への委託か、杜協直営で利益を他の福祉へ回す検討は。近隣市病院へデマンドタクシー乗り継ぎ協定はどうか。

答 秘書政策課長

運営委託や、広域協定については、潮来市における公共交通施策の体系、運営等について潮来市地域公共交通活性化協議会において議論を進めていますが、具体的にお答えできる段階ではない。

生活困窮者への食料提供へ市内もスーパー・コンビニ提携と困窮制度の認定繋ぎ機関へ緊急資金貸付を

答 社会福祉課長

市民や市内店舗等からの食料品等の提供による福祉サービスは、行政ではなく、社会福祉協議会の事業として取り組むほうがよいと考えており、今後、米の寄付、缶詰等の食品提供を呼びかける取り組みについて杜協と協議、検討していきたい。緊急資金貸付は、現在、潮来市社会福祉協議会が窓口となっており、茨城県社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度の中で貸付限度額10万円の緊急小口資金で対応。以前、市の独自事業で実施していた緊急小口貸付けは、返済状況や、近隣市の状況も踏まえ制度が廃止になった経緯があるので慎重に考えたい。



質問者 飯田 幸弘 議員

Q1 潮来市の防災は如何に

近年多く発生する台風・大雨の時の避難場所の開設基準・体制は。

質問

総務課長

答

風水害等については、概ね12時間後に災害発生のおそれがある場合、災害対策本部が、開設すべき避難所を指定して開設。平成26年2月策定の、台風・大雨に備えた「事前行動計画」に基づき、台風の進路や雨量、風の強さ・接近する時間を考慮しながら災害対策本部の設置や避難所の開設等を進めて

再質問

自然環境の変化、気象変動の影響等を鑑み、事前行動計画の見直しは有るか。

答

総務課長

霞ヶ浦河川事務所を中心に茨城県、千葉県、水戸気象台、霞ヶ浦周辺の市町村等において、霞ヶ浦大規模氾濫に関する減災協議会が開催され、千年に一度の災害に備える議論が展開。今後5年間の国・県、市町村の取り組み内容が示されたため、協議会を設け、潮来市防災計画の見直しを進めるとともに、台風・大雨に備えた事前行動計画も見直していきたい。

Q2 市立図書館の未来は如何に

教育長に今後10年間の運営方針・目標を訊く。

質問

教育長

答

高齢化社会への対応や、障害のある方へのサポート、国の問題でもある少子化等の対策、その子育てに当たる方々へのサポートをどのようにするか、という点も考えていく中で、電子図書サービスの充実・点字、録音図書、字幕付きビデオ、ガイド音声付DVD等のバリアフリー資料等の整備や、出前講座、子育て広場での本の読み聞かせ会など、各年代に応じたサービスに積極的に取り組んでいきたい。学校図書館法に基づき、指定管理者と協力し、充実に努めていきます。



Q3 障害者差別解消法、市の対応は

対応要領は整備されたか。

質問

社会福祉課長

答

本年度内の策定に向け、現在、人事を所管する総務課と協議、検討している。

質問

相談及び紛争防止の為に体制は整備されたか。

答

社会福祉課の障害福祉グループが窓口です。今後、広報紙への情報掲載や看板等を設置するなど、周知を図ります。



Q4 道の駅いたこ将来構想は

質問

駐車場整備・グランドゴルフなどの将来構想は。

答

改修基本計画において、駐車場の機能向上、回遊性の向上を目指し、駐車スペース



答

環境経済部長

来年度は直営で行っていきます。野菜売り場新築後、充実した形で、高齢者、利用者の方々に喜んでいただけるようにしていきます。

質問

健康維持など様々な効果がある為、利用者に利用しやすい環境を考えては。

の増設や増設する計画や、交通と歩行の支障となる縁石をなくし、駐車場までショッピンカートで行き来ができるような計画も考えている。グランドゴルフは、高齢者の方々の憩いの場となっており、来年度からの動線は、ひかりの広場から変更して、受付場所や表彰式会場についても工事終了後に充実を図って運営していきたい。

議会の動き

15日	14日	13日	11日	8日	7日	6日	3日	1日
県議長会研修会	菊花展示会表彰式	大生神社例大祭	鹿島育成園収穫祭	地域公共交通活性化協議会	連合会長杯グランドゴルフ大会	三来交流会	秋田県男鹿市行政視察来庁	三来交流会
関係議員	議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長

10月	1日	延方幼稚園運動会	関係議員
	5日	全員協議会	
	7日	市長杯グランドゴルフ大会	議長
	9日	香取神社大祭	議長
		松原神社例大祭	副議長
	10日	松原神社例大祭	
	11日	地域公共交通活性化協議会	議長
	12日	4団体連絡会議	議長
	13日	茨城県国民健康保険運営協議会	議長
	14日	潮来市議会臨時会	
		県東議長会定例会	議長
	15日	潮来市青少年のつどい	関係議員
	18日	議会運営委員会研修	関係議員
	22日	区長会研修	議長
	23日	区長会研修	議長
	26日	福祉大会実行員委員会	議長
	28日	県議長会正副会長会議	議長

22日	19日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	9日
地域公共交通活性化協議会	茨城国体実行委員会	障害者差別解消法講演会	活躍する作家展開演式	年末一斉街頭活動	議会定例会 最終日	荒川区議員行政視察来庁	教育福祉経済委員会	議長杯グランドゴルフ大会
議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長

30日	29日	27日	26日	25日	24日	21日	18日	17日	16日
民生委員児童委員離任式	潮来市議会定例会	男女共同参画啓発講演会	日本おもて名品展	潮来市社会福祉大会	県知事との懇談会	つくば霞ヶ浦りんりんロード開通式	議会運営委員会	潮来ブランド米事業フォーラム試食会	全員協議会
議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長	議長

市議会からのお知らせ

潮来市議会は、申し合わせにより市議会議員としての「指名焼香」は、原則辞退することとなりましたので、市民の皆様のご理解をお願いします。なお、ご当様のご意向により焼香する場合があります。

訂正のお知らせ

潮来市議会だより163号にて誤りがございました。

P11 Q3. 広域連携路線バスについて

誤)	平均乗車人数 (1日当たり)	7.54人	正)	平均乗車人数 (1日当たり)	<u>27.54人</u>
----	-------------------	-------	----	-------------------	---------------

ここにお詫びして訂正します。



Role of assembly
議会の役割

Flow of assembly
議会の流れ

Petition & petition
請願・陳情

Assembly hearing
議会傍聴

開かれた議会を目指して

日ごりより市議会に對し、ご理解とご協力をいたし、心から感謝申し上げます。現在、地方分権の進展に伴い、市制を取り巻く環境も大きく変わりました。議会としても十分な調査研究に努め、執行部に対して適切な意見を述べ、また議員自ら問題を深め、議会の改革・活性化に向け努力して参ります。

議員一丸、市民の皆様の声を聞きながら市制の発展と住民福祉の向上を目指し、一丸となり取り組んで参りますので、(ご一丸)の支援とご協力をお願い申し上げます。

潮来市議会

検索

市民の皆様の声聞きながら市制の発展を住民福祉の向上を目指し、一丸となり取り組んで参りますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第16回 議長杯クロッケー・輪投げ大会(11/29)

○クロッケー

優勝 六丁目むつみクラブ

準優勝 新町あけぼのクラブ

第三位 釜谷長寿会

第三位 水原第1区長寿会



六丁目むつみクラブのみなさん

○輪投げ

優勝 西永山永友会

準優勝 宿若葉会

第三位 新町あけぼのクラブ

第三位 フレンドあづまクラブ



西永山永友会のみなさん

第6回 議長杯グラウンドゴルフ大会(12/13)

優勝 草野 常雄 (小 泉)

準優勝 堀越 貴一 (新 町)

第3位 塚本 孝 (六丁目)



前列左から
堀越貴一さん(新町)
草野常雄さん(小泉)
塚本 孝さん(6丁目)



ホームページで

議会中継を見られます!

潮来市議会では情報を積極的に公開しています。

市議会ではどんな話し合いをしているんだろ?



こんなに色々話し合われているんだ!



もちろん
傍聴でも

本会議は誰でも傍聴することができます。

お知らせ

皆様にご愛読いただきて参りました「議会だより」の名前が変わります! お楽しみに!



議会傍聴へお越しください

次回定例会は
3月3日(金) 開会予定です

日の出こども園 幼年消防クラブのみなさんです。潮来市消防団出初め式では、毎年、防火行進を行い、「安全で 元気なまちになるように」元氣いっぱい火災予防を呼びかけています。空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期です。火のもとには十分注意しましょう。

表紙説明



委員長
副委員長
委員

議会広報編集委員会

阿部 兼平 飯田 幸弘 箕輪 政則 大野 征記 薄井 征記

最後に本市発展のために、皆様のお声をお聞かせ願えれば幸いに存じます。

(飯田 幸弘)

編集後記

市民の皆様には「議会だより」を日頃よりご愛読頂き誠にありがとうございます。

正副委員長のもと、委員全員が「市民に開かれた議会」を目指し、より読み易く、わかり易く、伝わり易い「議会だより」に少しずつ近づけていくことが委員会の大事な役割の一つで有ります。

議会活動により、自治体の政策・制度を市民の皆様へ情報として確実に伝え共有することが出来る紙面作りを考え、委員全員で更なる編集に取り組んでまいります。